

## 株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで  
定時株主総会 毎年12月  
株主確定基準日 定時株主総会・期末配当金 9月30日  
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告  
http://www.septeni-holdings.co.jp/  
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
(特別口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社  
各種お問合せ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
TEL : 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式の売買単位 100株  
証券コード 4293



株式会社セプテーニ・ホールディングス  
http://www.septeni-holdings.co.jp/

■本報告書の中の業績予想等につきましては、本報告書作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

■本報告書の中の会社名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

■社是  
ひねらんかい (知恵を出そう、工夫しよう)

■経営目標  
**Strong & Great** 強く偉大な会社

■経営方針7原則  
**Speed**  
組織としての意思決定はもちろん、お客さまへの対応やサービス提供のスピードを速めることで、ビジネスチャンスを確実にとらえると同時にお客さま満足の向上につなげています。

**Stretch**  
当社では常により高い目標を目指し続けています。過去と同じことをしていたのではその目標に届くことはできず、絶えずイノベーションを起こし変化することで成長を遂げてきました。

**Partnership**  
経営陣・社員の区別なく全社員が経営者意識を持って業務にあたることを説きます。

**Fair & Open**  
当社ではやったらやった分だけ公平に評価されるという環境と、結果を社員全員にディスクローチャーするオープン経営を実現します。

**Originality**  
経済環境に関係なく卓越した利益をあげるため、情熱を持って取り組めるものは何か、自社がNo.1になれるものは何か、それは利益を生むものか、の3点を満たすものを事業に掲げ、誰にも負けない事業を展開します。

**Passion**  
必ずできるという意志の強さ、情熱、どんな困難にぶつかっても最後は必ず勝てるという信念を持ち続け、増収、増益も実現し続けます。

**Free & Rule**  
強く偉大な会社になるためには、きちんとしたルールに基づく秩序と、その中での創造性が必要です。当社では規律の中の自由を文化とします。



**PROJECT-  
With the Earth**  
この冊子の印刷・製本に係るCO2は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。



第24期 報告書  
2013年10月1日～2014年9月30日  
株式会社セプテーニ・ホールディングス  
証券コード:4293

## Septeni Business Report 2014

## 成長分野への注力が奏功し 3期連続で最高益を更新 今後は新たな柱となる事業の 創出を目指します

— 最近の経営環境についてはどのように捉えておられますか？

### インターネット利用環境の変化に先んじて 事業構成を最適化し成長を実現

インターネット産業では様々な分野で高成長が続いており、なかでもスマートフォン(スマホ)が、より一般に普及する時期に入ってきています。2014年9月末時点のスマホの国内契約数は6,248万件、携帯電話契約数の50.3%を占めるまでになり<sup>\*1</sup>、もはや先進的なユーザーだけでなく一般的な利用シーンで使われるようになってきました。朝の通勤電車でも、多くの乗客がスマホを熱心に操作するシーンをよく見かけるようになってきました。テレビや新聞、雑誌など既存のあらゆるメディアが、スマホに移行しつつあるのは間違いないでしょう。最近では、複数のニュースアプリが数百万人規模のユーザーを獲得しており、このことから、これまで紙で読まれていた新聞の内容がスマホで読まれている傾向が窺えます。エンターテインメント分野では、スマホを使ってゲームを楽しむユーザーが増えており、メガヒットタイトルともなると数千万人がダウンロードする盛況ぶりです。これら以外でも様々なサービスでスマホの利用シーンが着実に広がっています。

株式会社セプテーニ・ホールディングス  
代表取締役社長 佐藤 光紀

当社グループでは、こういったインターネット利用環境のモバイルシフトに先んじた対応と、近年注力してきた「ソーシャル」「グローバル」の領域との相乗効果によって大きな成長を遂げています。

— 当期[第24期]の取り組みおよび業績についてお聞かせください。

### 主力のネットマーケティング事業において 業容拡大と収益性向上の両立を実現

当期の連結業績は、売上高543億円、営業利益22.5億円となり、ともに3期連続で過去最高を更新しております。

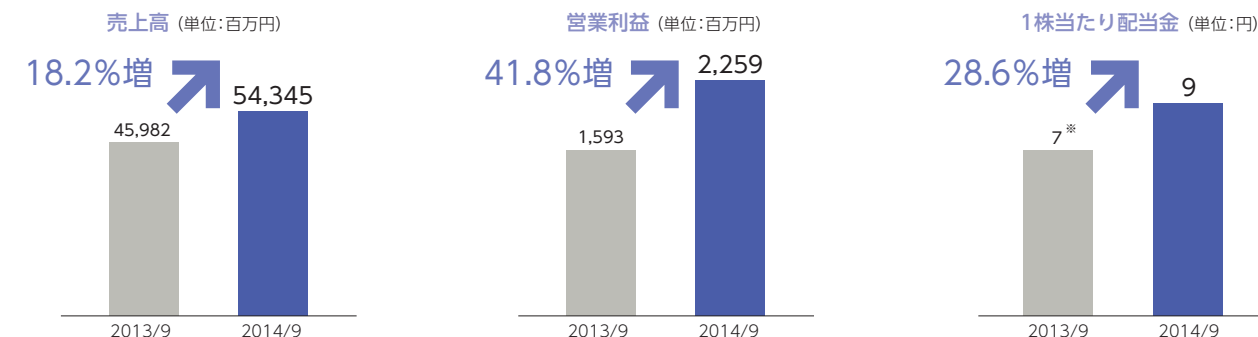
主力のネットマーケティング事業につきましては、前期比22.3%増収、35.9%増益と、業容拡大と収益性向上を両立する形の成長を実現できました。当社グループが得意とする運用型広告を中心としたネット広告市場の拡大と、成長分野への注力により、前期に比べさらに売上成長が加速しました。当社グループでは、変化の激しいネット広告市場で勝ち残っていくため、なかでも特に高い成長が見込める「モバイル」「ソーシャル」「グローバル」の3つの分野に注力しています。

モバイルに関しては、スマホ広告が需要拡大とともに商品の多様化も進み、高成長が続いております。通期でのスマホ広告売上は約230億円で前期比約2.1倍、事業内構成比は約48%にまで拡大しました。市場環境を先取りする形でスマホ化に対応できたと自負しております。

ソーシャル事業では、Facebook関連サービスを中心に事業が拡大しており、売上高は前期比約2.9倍に伸長しました。また、当期においては、Twitterの「広告APIパートナー」と「モバイルメッセージメントパートナー」という2つの認定を受けることができました。Facebookと同様、自社開発システムを用いて運用効率を改善するという付加価値をつけた形での広告販売モデルを確立しており、Twitter広告の取扱高も急拡大しています。

一方で、海外展開も積極的に推進しており、ロンドン、ソウルの2か所に拠点を新設したほか、Facebook広告に強みを持つ韓国のネット広告企業を子会社化しています<sup>\*2</sup>。既存拠点では、北米を中心に業容が拡大し、海外売上高は前期比約7.5倍と大幅に増加しました。

結果として、「モバイル」「ソーシャル」「グローバル」それぞれの領域が伸び、グループ業績が成長しております。



\*当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味した数値を記載しております。



## メディアコンテンツ事業では積極的な先行投資を実施

メディアコンテンツ事業は先行投資を積極的に行った結果、営業赤字が拡大する結果となりました。

モバイルゲーム事業では、初のネイティブアプリ「反逆のシエルアーク」をはじめ、既存タイトルは堅調に推移したものの、新規タイトルの投入がブラウザゲーム1本にとどまって減収となりました。一方、スマホへの移行という市場の変化に合わせて、ネイティブアプリの開発を積極的に推進しており、有力パブリッシャーとの協業案件を積極的に手がけています。



また、前期より新規事業としてスタートしているマンガコンテンツ事業では、連載型新作マンガ配信サービス「GANMA!」を2013年12月に開始しました。将来の収益化に向け、作家育成と配信サービス両面で積極的な先行投資を実施しています。マンガ以外の新規事業としては、マッチング型人材採用プラットフォーム事業、社会貢献プラットフォーム運営事業を中心に事業開発を推進しています。結果として、マンガコンテンツ事業を中心とした新規事業への先行投資に係る損失は、前期比約2倍の3.1億円に拡大しました。

—— [第24期]からの中期経営方針および次期[第25期]以降の取り組みについてお聞かせください。

## 高収益事業の構成比をアップさせつつ新たな主力事業を創出し「利益倍増」を目指す

中期経営方針のコンセプトは「利益倍増」です。我々の中長期での事業方針に変更はなく、引き続き高収益事業の構成比をアップするとともに、広告に次ぐ事業の柱をつくることを目指します。事業ポートフォリオの見直しも必要に応じて取り組んでおり、当期はDM事業の譲渡を決定しました<sup>※3</sup>。これからも、より収益性の高い事業へのシフトを進めていくつもりです。

次期においては、主たる事業であるネットマーケティング事業の競争力を上げ、その持続的成長により、グループ全体として増収増益を目指します。

ネットマーケティング事業では、成長分野である「モバイル」「ソーシャル」「グローバル」に注力し、引き続き市場シェアの拡大と収益性の向上に努めていきます。

メディアコンテンツ事業のうち、モバイルゲーム事業につ

いては、当期でデバイスシフトが完了しつつありますので、今後はネイティブアプリを中心にヒットタイトルを創出し、収益改善を目指します。マンガコンテンツ事業については、プラットフォームの規模拡大に向けて積極的な先行投資を続けていきます。

これらの取り組みを実現するため、当社のコーポレートスローガンである「一人ひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に」のもと、次期は社員一人ひとりがさらに経営に対しての当事者意識を持ち、自らの成長にドライブをかける一年にしたいと考えております。

当社グループは、2014年の「働きがいのある会社」ランキングで8位にランクインしており<sup>※4</sup>、そういった「人の成長」に対する取り組みは高く評価されております。今後も組織のフラット化やダイバーシティへの取り組みも含め、社員がより成長し、その力を最大限に発揮できる環境整備を進めていきたいと考えております。

—— 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

## 当期は2期連続の増配を実施。成長分野への積極投資で持続的かつ飛躍的な成長へ

株主の皆様への利益還元については、従来どおり連結純利益の15%程度を目安にしております。当期については、純利益が順調に伸びた結果、2期連続となる増配を実施しております。今後も業績の拡大に応じた適切な利益配分を基本としながら、安定配当の継続にも配慮していく方針です。

前期に引き続き、当期も過去最高益を達成しましたが、我々を取り巻くインターネット産業の現状と将来性を勘案

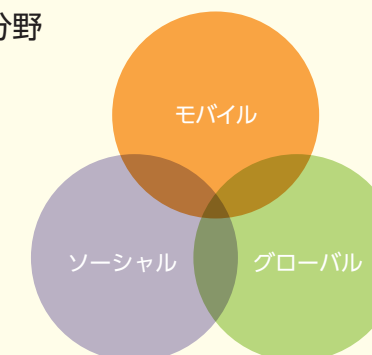
## 中期経営方針

### ■ コンセプト

#### 「利益倍増」

高収益事業の構成比アップ  
広告に次ぐ事業の柱をつくる

### ■ 注力分野



すると、まだまだ成長のスピードを上げる余地は多分にあると考えております。まずは中期経営方針の「利益倍増」を実現させ、同時に成長分野への積極投資を行い、持続的かつ飛躍的な成長を目指していきます。引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

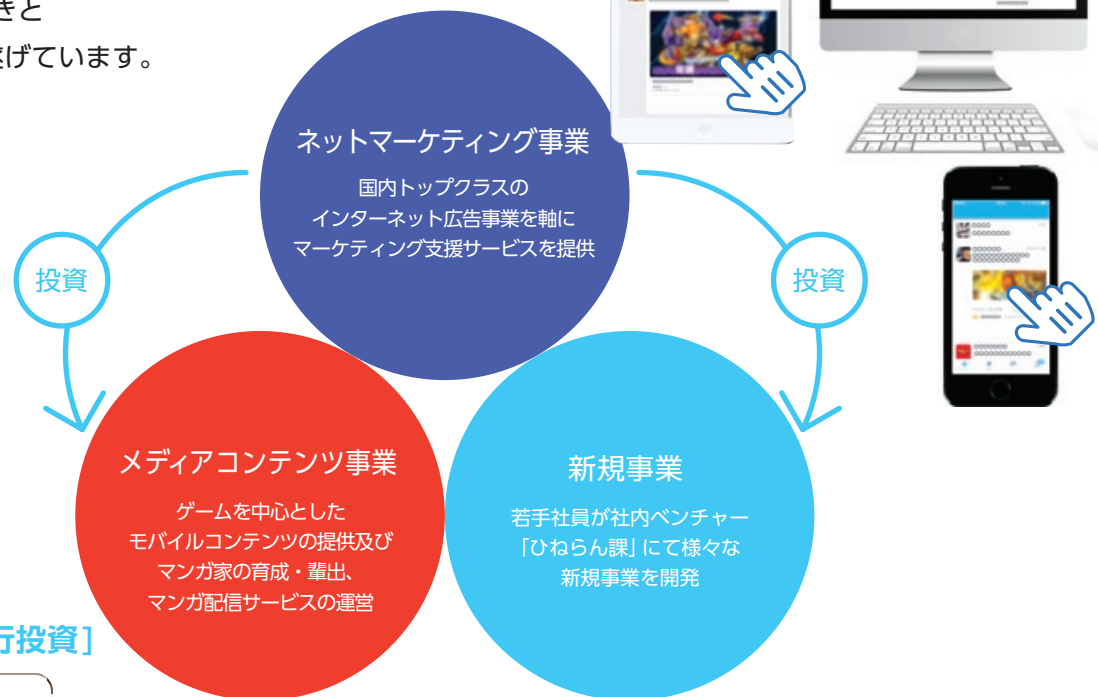
※1. 株式会社MM総研の調査より

※2. 2014年9月30日付で連結

※3. 2014年10月1日付で譲渡

※4. Great Place to Work® Institute Japanによる2014年版「働きがいのある会社(日本版)」ランキングの従業員100~999名の企業カテゴリーにて、セプテーニグループ(対象9社)は8位にランクイン

セプテーニグループは、  
ネットマーケティング事業を収益の柱に、  
成長過程のメディアコンテンツ事業への投資、  
新規事業への種蒔きと  
常に前進・進化を遂げています。



## 持続的成長 [収益の柱]



## 成長過程 [先行投資]



© アクセルマーク © SEGA Networks/ © AXEL MARK



© COMICSMART INC. © COMICSMART INC.

## 成長への種蒔き

新規事業開発を狙う

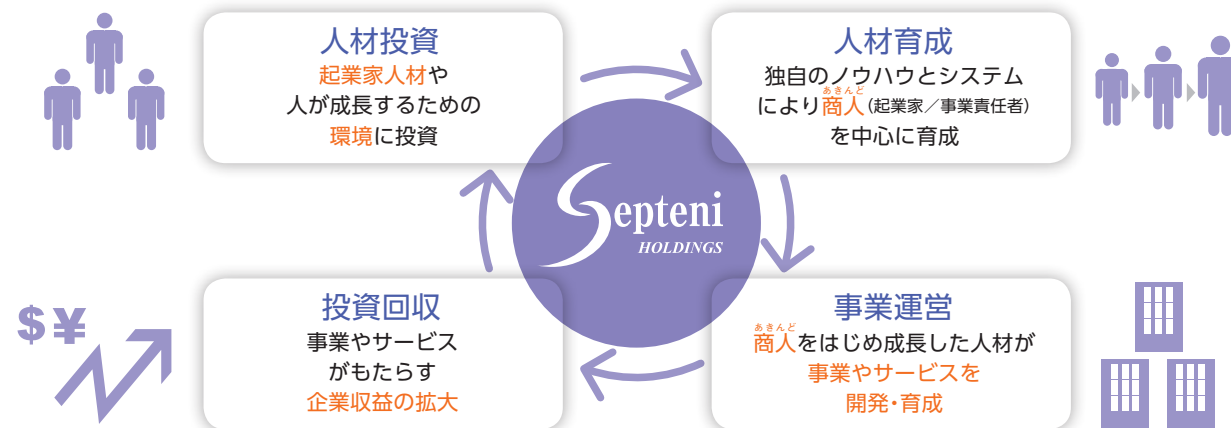


次々と生み出される新規事業

- ViViViT** マッチング型人材採用プラットフォーム
- gooddo** 生活者と企業による社会貢献活動支援プラットフォーム

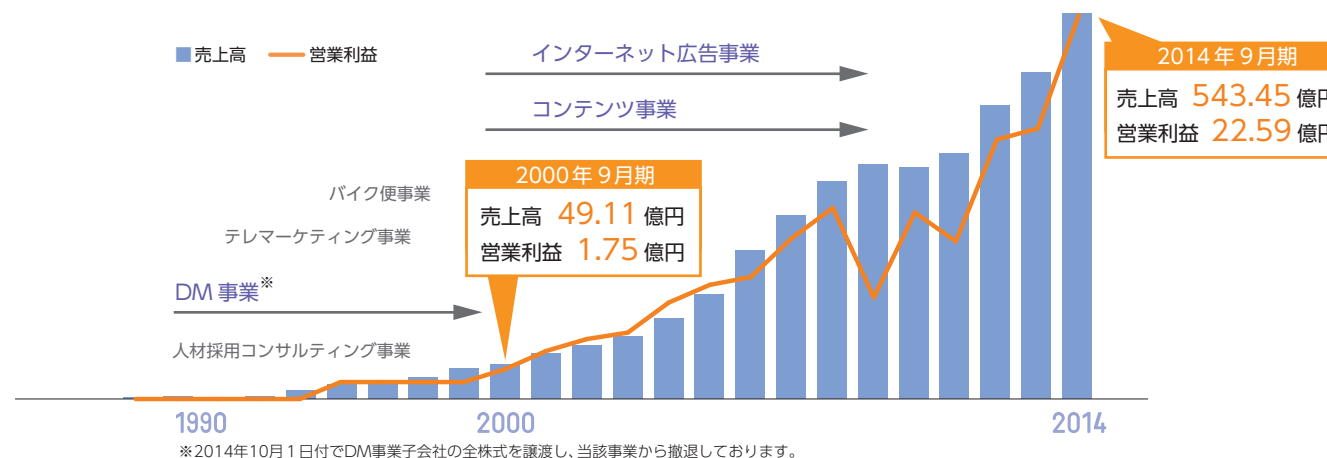
## セプテーニグループの成長サイクル

グループ最大の資産は当事者意識が高く起業家精神溢れる人材です。  
起業家人材に積極投資することで企業としての持続的成長を実現しています。



## 変化と成長の歴史

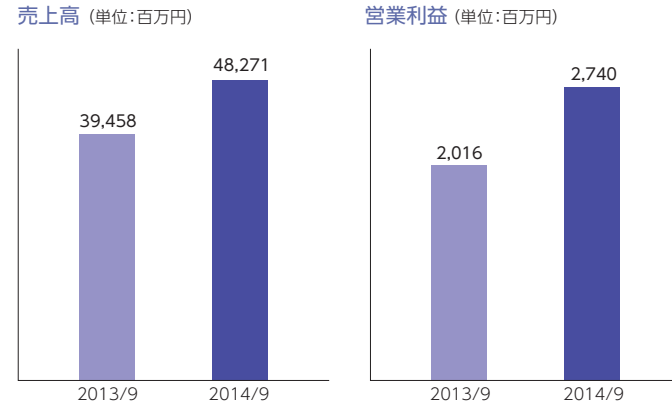
セプテーニグループは、1990年の創業以来、何度か主力事業を転換してきました。  
インターネット広告事業を開始した2000年からの14年間で売上高は約**11倍**、営業利益が約**13倍**に成長しました。



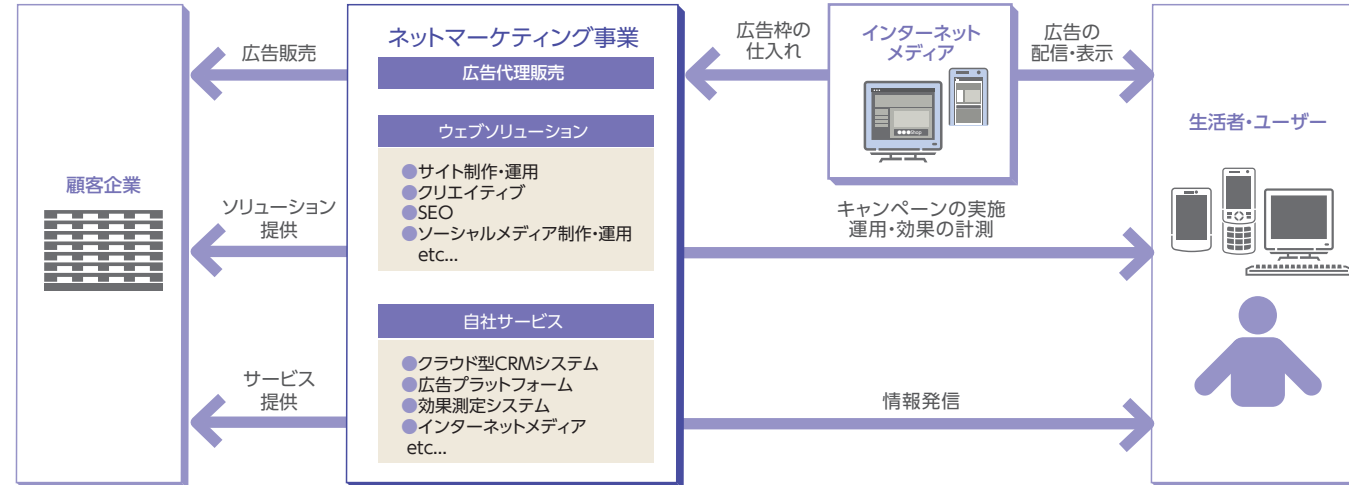
## ネットマーケティング事業

業績理解のポイント 業容拡大と収益性向上を実現

主要な事業内容：  
インターネットを活用した包括的なマーケティング  
支援サービス全般

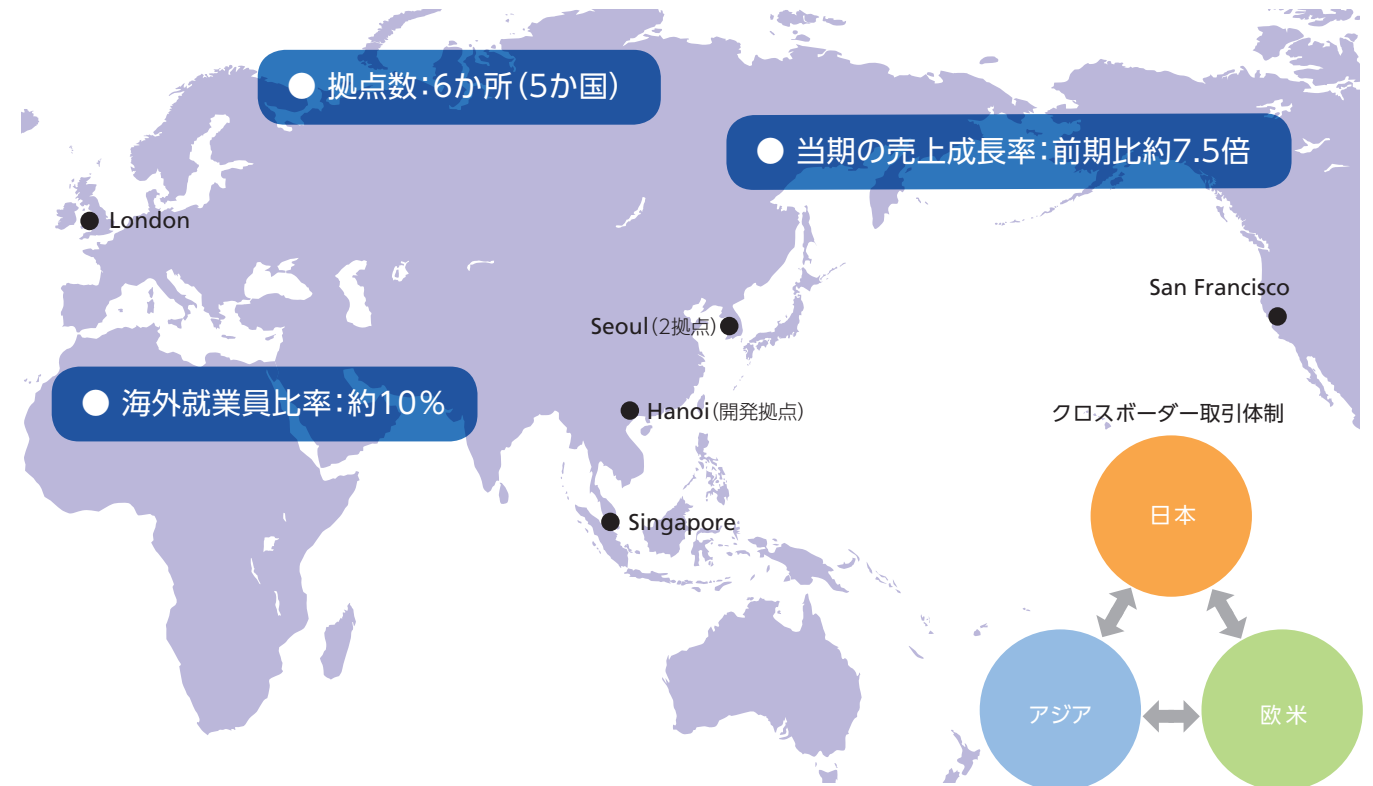
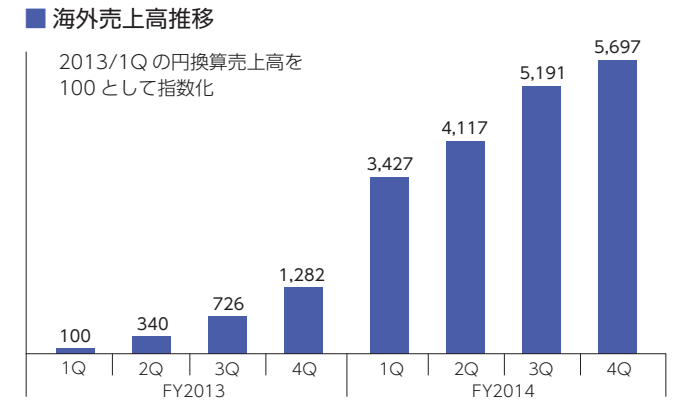


- 全般  
運用型広告を中心とするネット広告市場の拡大と成長分野への注力により、前期に比べ売上成長が加速するとともに収益性も向上しました。
- モバイル  
スマホ広告は需要の拡大とともに商品の多様化が進んだことで、売上高は前期比約2.1倍に拡大し、事業内構成比は約48%に上昇しました。
- ソーシャル  
Facebook関連サービスの拡大及びTwitter広告の急成長により、売上高は前期比約2.9倍に伸長しました。
- グローバル  
北米を中心に業容が拡大し、売上高は前期比約7.5倍と大幅に増加しました。  
またロンドン、ソウルに拠点を新設し、韓国のネット広告企業を子会社化するなど海外展開を積極的に推進しました。



## FOCUS グローバル展開

セプテーニグループのグローバル展開は、2012年3月のシンガポール拠点設立から始まりました。それから2年半、今では営業拠点5か所、開発拠点1か所の合計6拠点を展開するまでになり、グループの成長を支えています。  
各営業拠点では、日本との間でネット広告のクロスボーダー取引体制を構築し、主に現地の企業向けにネットマーケティング支援サービスを提供しています。  
開発拠点では、ソーシャル広告運用最適化ツール「PYXIS」をはじめとする自社サービスの開発に取り組んでいます。

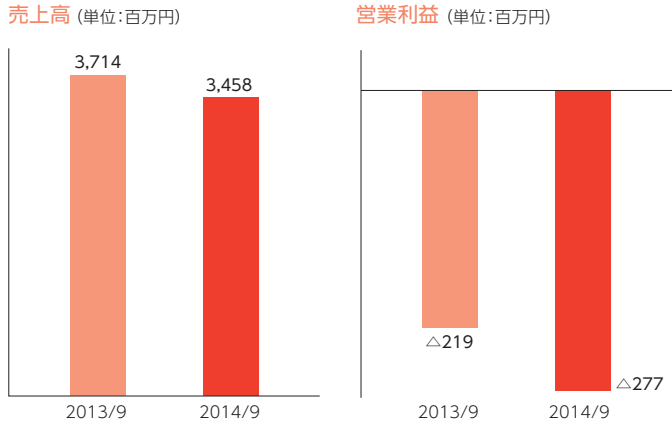




## メディアコンテンツ事業

**業績理解のポイント** 先行投資期で営業赤字が継続

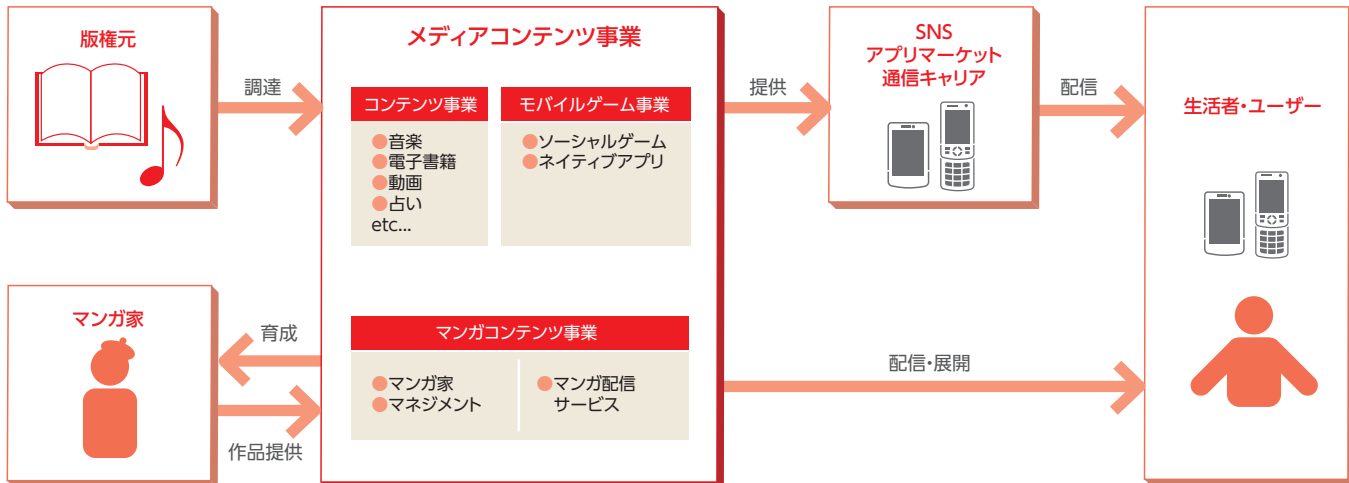
主要な事業内容：  
ゲームを中心とするスマートフォン向けデジタルコンテンツの提供、  
自社IP（知的財産）の企画・開発を目的としたマンガ家の育成・輩出  
及びマンガ配信サービスの運営等



●**モバイルゲーム事業**  
既存タイトルは堅調に推移したものの、新規タイトルの投入がブラウザゲーム1本にとどまり減収となりました。一方で、2015年9月期にリリース予定のネイティブアプリゲームの開発に注力しました。

●**マンガコンテンツ事業**  
連載型新作マンガ配信サービス「GANMA!」を開始し、本格始動しました。将来の収益化に向けて、作家育成と配信サービス両面で積極的な先行投資を実施しました。

●**新規事業全般**  
マンガコンテンツ事業のほかにも複数の新規事業開発を推進し、新規事業(マンガコンテンツ事業を含む)への先行投資に係る損失は前期比約2倍の313百万円に拡大しました。



## FOCUS マンガコンテンツ事業

「コア新規事業」として当期より本格的に事業を開始したマンガコンテンツ事業は、「マンガ」を中心とした自社IP（知的財産）の企画・開発を目指し、マンガ家の育成・輩出及び配信サービスの運営をおこなっています。インターネット発の優れたマンガ作品づくりと事業としての収益化に向けて、今後もマンガ家の育成とプラットフォーム拡大のための積極的な先行投資を継続してまいります。

**新人マンガ家支援プログラム**

当社オフィス内に設置した専用スタジオの提供や編集担当によるサポートのほか、毎月一定の支援金を給付するなど、マンガ家の創作活動を全面的に支援しています。



**連載型新作マンガ配信サービス**

読者レビューを加味したランキングシステムやイラスト投稿機能等、読者がマンガ家を直接応援し成長を支援できる仕組みを構築しています。2014年11月30日時点でアプリのダウンロード数が85万を突破し、連載数は40作品になりました。



**人気作品を単行本化**

2014年10月よりGANMA!連載中の人気作品を単行本化し、電子書籍ストアで順次販売を開始しています。

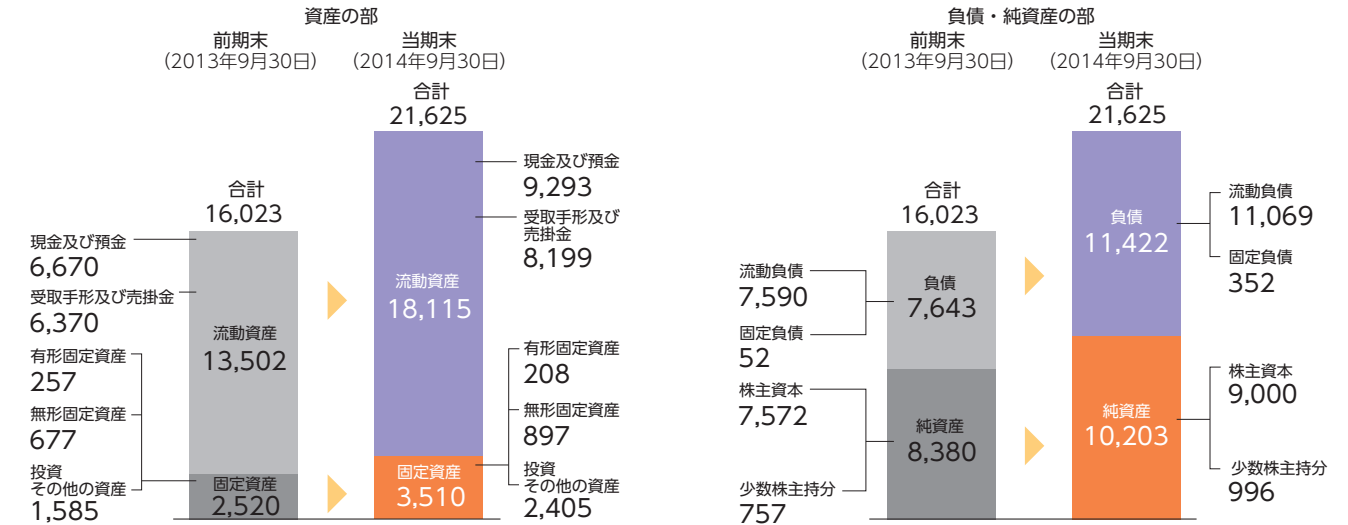
© COMICS MART INC. © COMICS MART INC. © COMICS MART INC. © COMICS MART INC. © COMICS MART INC.

## 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

科目	前期 (2013年9月期)	当期 (2014年9月期)	増減率
売上高	45,982	54,345	+18.2%
営業利益	1,593	2,259	+41.8%
経常利益	1,752	2,362	+34.8%
当期純利益	1,207	1,549	+28.3%

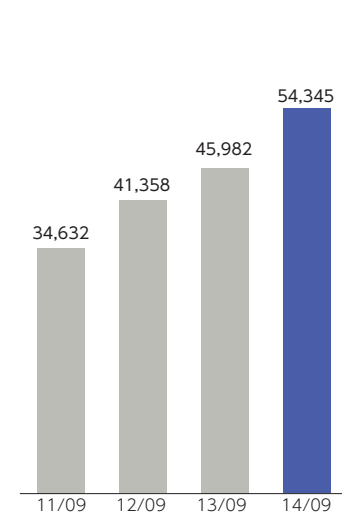
- 好調なネットマーケティング事業が先行投資によるメディアコンテンツ事業の営業赤字をカバーし、連結業績を牽引いたしました。
- 売上高と全ての利益項目において3期連続で過去最高を更新するとともに、営業利益率も向上いたしました。

## 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

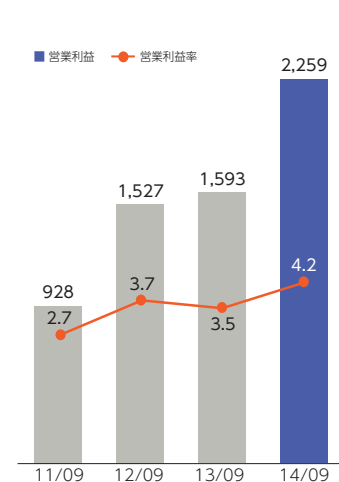


- 総資産: 現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加等により、前期末に比べて5,602百万円増加いたしました。
- 負債: 買掛金や未払法人税等の増加等により、前期末に比べて3,779百万円増加いたしました。
- 純資産: 当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前期末に比べ1,822百万円増加いたしました。

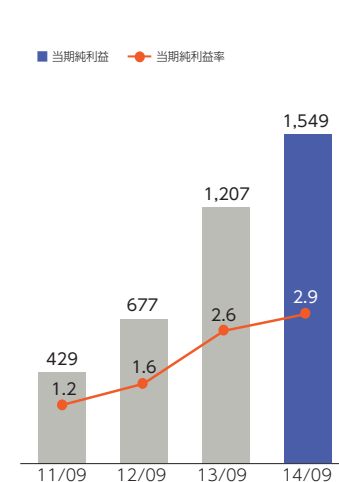
売上高 (単位:百万円)



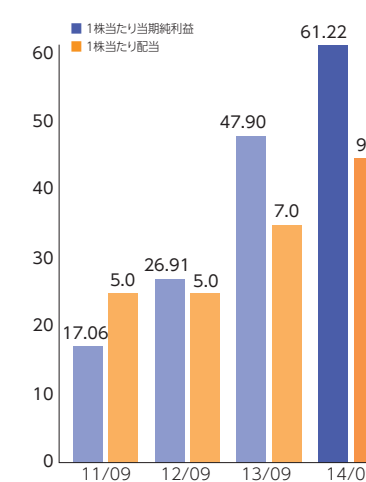
営業利益 (単位:百万円)  
営業利益率 (単位:%)



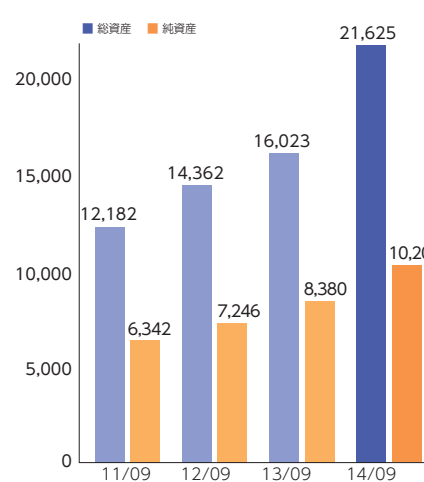
当期純利益 (単位:百万円)  
当期純利益率 (単位:%)



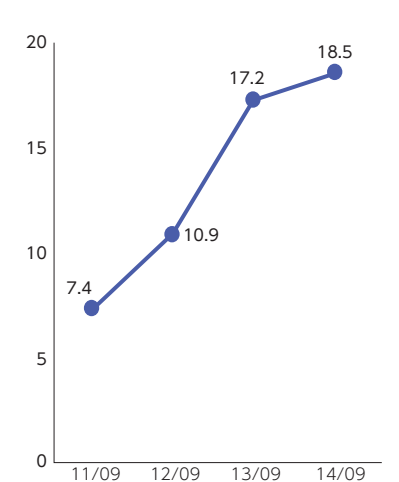
1株当たり当期純利益 (単位:円)  
1株当たり配当 (単位:円)



総資産 (単位:百万円)  
純資産 (単位:百万円)



ROE (自己資本当期純利益率) (単位:%)



※2013年10月1日付で1:200の株式分割を実施。  
上記の数値は2011年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出。

## 持株会社



株式会社セプテニ・ホールディングス  
株式等の保有を通じたグループ企業の統括、管理等

## ネットマーケティング事業

### 国内



株式会社セプテニ  
インターネット広告事業



MANGO株式会社  
SEMオペレーション事業



株式会社Vasara  
インターネット広告事業



株式会社ハイスコア  
ソーシャルメディアマーケティング支援事業



株式会社イーグルアイ  
アドネットワーク事業



株式会社セプテニ・オリジナル  
自社サービスの企画・開発



株式会社セプテニ・クロスゲート  
アフィリエイトネットワーク事業



株式会社エイエスピー  
eマーケティングソリューション事業



トライコーン株式会社  
CRMサービス事業

### 新規事業開発



株式会社セプテニ・ベンチャーズ  
インキュベーションサポート事業

### 海外



Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.  
アジア太平洋地域におけるインターネット広告事業



Septeni America, Inc.  
北米地域におけるインターネットマーケティング事業



Septeni Europe Co., Ltd  
欧州地域におけるインターネットマーケティング事業



JNJ INTERACTIVE INC.  
韓国におけるインターネットマーケティング事業



SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.  
ウェブサービスの開発等

## メディアコンテンツ事業



アクセルマーク株式会社  
モバイルコンテンツ事業



コミックスマート株式会社  
マンガコンテンツ事業



株式会社ビビビット  
マッチング型人材採用プラットフォーム事業



gooddo株式会社  
社会貢献プラットフォーム運営事業

## 会社概要 (2014年9月30日現在)

商号 株式会社セプテニ・ホールディングス  
(SEPTENI HOLDINGS CO., LTD.)  
本社所在地 東京都新宿区西新宿八丁目17番1号  
住友不動産新宿グランドタワー  
電話番号 03-6863-5623  
(FAX) 03-6863-5624  
事業内容 株式等の保有を通じたグループ企業の統括、管理等  
設立 1990年10月  
資本金 20億53百万円  
連結従業員 正社員809名 / 就業員955名



## 役員構成 (2014年12月19日現在)

代表取締役社長 佐藤 光紀 (中央) 常勤監査役 柳 克久  
専務取締役 上野 勇 (右から3番目) 常勤監査役 野村 宗芳  
常務取締役 清水 一身 (右から1番目) 監査役 廣渡 嘉秀  
取締役 松田 忠洋 (右から2番目) 監査役 大滝 令嗣  
取締役 唐木 信太郎 (左から2番目)  
取締役 瀬戸口 佳奈 (左から3番目)  
社外取締役 木村 達也 (左から1番目)

※創業者である七村 守は、2014年12月19日開催の第24回定時株主総会をもって取締役 (代表取締役会長) を退任いたしました。同日付で名誉会長に就任し、グループをシンボライズする職責を担います。

## 株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数 74,016,000株  
発行済株式総数 27,147,000株  
株主数 5,979名  
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1. 株式会社ビレッジセブン	3,543,800	13.97
2. 七村 守	2,933,200	11.57
3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,647,900	10.44
4. ヤフー株式会社	1,400,000	5.52
5. 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,393,000	5.49
6. 野村信託銀行株式会社(投信口)	613,700	2.42
7. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	555,100	2.19
8. GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	553,724	2.18
9. 清水 洋	454,000	1.79
10. JP MORGAN CHASE BANK 385181	446,600	1.76

(注) 当社は、自己株式1,784,600株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。また、持株比率についても、自己株式を控除して算出しております。

## 所有者別分布

